
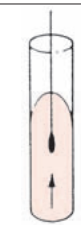
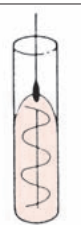
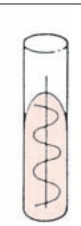

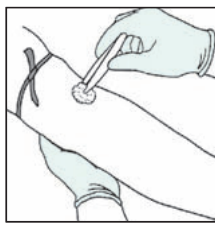

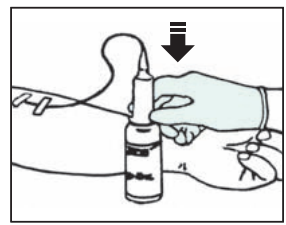






検体の種類	検体の採取方法	
膣・子宮・尿道の分泌物	トリコモナス	<p>綿棒は適当な長さに切って下さい。</p>  <p>トリコモナス培地に検体を採取した綿棒を入れて下さい。 (培地は使用前に室温にもどして下さい) 検体採取後は室温保存して下さい。 (冷蔵保存では検査不可となります)</p>
	カンジダ	<p>カンジダ培地を使用して下さい。</p> <p>1  キャップをとりカンジダ培地の斜面に検体採取した綿棒で底から上部に検体を直線状に塗布します。</p> <p>2  次に同じ綿棒で画線を描くように塗布します。</p> <p>3  キャップをします。</p>
血液	<p>カルチャーボトルを次の順序で使用して下さい。</p> <p>1  ①培養ボトルからフリップキャップをはずします。</p> <p>2  ②ボトルのゴム栓をアルコール綿で1回拭き、乾かします。</p> <p>3  ③70%イソプロパノールまたはエタノールを浸した綿で、皮膚を清拭します。(1~2%ヨードチンキまたは10%ポビドンヨードでも可) ④清拭部位を乾かします。</p> <p>⑤シリンジまたは翼状針を用いた真空採血により、培養ボトルに血液を3~10mL採取します。</p> <p>⑥採取した検体を提出するまでは、常温で保存して下さい。(冷蔵または孵卵器で保存しないでください)</p> <p>または </p>	
口腔・鼻腔・咽頭分泌物	<p>シードスワブ®を使用して下さい。</p> <p> キャップ付綿棒をとり出します。</p> <p> 採取部位を綿棒で十分に擦過し、また膿栓のあるときは圧迫して検体を採取して下さい。</p> <p> 培地のキャップ部分をとって下さい。</p> <p> 綿棒を培地内に差し込んで下さい。</p>	